

防災機能の評価手法(暫定案)の位置付け等

防災機能の評価手法(案)の位置づけ等

(1)目的

○道路の果たす役割は災害対応等多岐にわたっており、これらは現行の3便益 B/Cでは十分に評価できていないことから、防災面の機能を適切に評価する手法を検討し、道路事業の目的・効果に見合った評価を行う。

(2)位置づけ

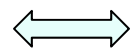
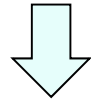
○国土交通省直轄の道路事業の新規事業採択時評価及び今後の再評価に活用するための手法とし、試行等を通じて適宜改善を加えていく暫定的なものとする。

○災害時の円滑な救助・救援、復旧の支援や、防災面の効果が期待されるなど、防災機能の高い道路事業を対象に適用する。

復興関係事業の進め方(案)

7/1

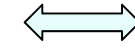
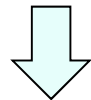
道路が通る概ねの範囲の提示(1km幅)



市町村・住民の意見

8/5

概ねのルート、IC位置の提示(500m幅)



市町村・住民の意見

8月末

ルートの確定(500m幅)



事業評価手続き

・事業の必要性、有効性を確認



事業化

・着工までに、詳細な事業計画をもとに
事業の効率性について確認